

## 『エネルギーアクションプラン』計画期間と目標

計画期間:2017年度(平成29年度)から2021年度(平成33年度)までの5年間

### ●エネルギー地産地消に関する目標

#### 再生可能エネルギー導入率アップ

省エネ等によって使用する電力を少なくするとともに、再生可能エネルギーの導入を拡大することで、再生可能エネルギー導入率を高めていきます。さらに、電気や熱、燃料などのエネルギーの地産地消の仕組みづくりを研究してまいります。

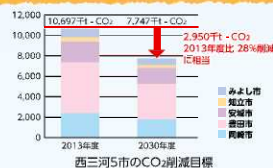


西三河5市の再生可能エネルギー導入率(電力)  
(2014年度)

### ●温室効果ガス排出削減に関する目標

#### 各市の地球温暖化対策計画の目標達成を、より確実なものにします

西三河5市の地球温暖化対策計画におけるCO<sub>2</sub>削減量を合わせると、2030年度には2013年度に対して28%削減に相当し、国の目標(26%削減)を上回ります。各市で計画の着実な推進を行うとともに、5市が連携して取り組むことで、より確実に達成できるようにしていきます。



西三河5市のCO<sub>2</sub>削減目標

### ●気候変動などへの適応に関する目標

#### 「気候変動への適応」という言葉の認知度アップ

「気候変動への適応」という考え方は近年注目され始めた新しい考え方です。地球温暖化に伴う気候の変化について、私たちの生活にも影響があることを正しく認識する市民を増やすことが、対策を進める上での第一歩となります。様々な啓発活動を通して、認知度を高めていきます。

## 5市の誓約について

私たちの生活は、通勤・通学や買い物等、市域を越えて営まれています。地球温暖化対策も生活圏全体で取り組む必要があります。市民生活や産業活動での関係が深い西三河5市は、首長のイニシアチブにより、「エネルギーの地産地消」「温室効果ガスの大幅削減」「気候変動などへの適応」に向けて取り組む日本版「首長誓約」(※)に「国内第1号」として2015年12月に共同して誓約を行いました。



日本版「首長誓約」誓約式の様子

自治体の枠を越えた新たな連携によって、地球温暖化対策における相乗効果や新しい対策の創出などが期待されています。

5市112万人がスクラムを組んで、この地域から取組を発信していきます。

(※)欧州連合(EU)が2008年から実施している取組をモデルにして、名古屋大学等が提案している地域創生と地球環境への貢献を同時に実現することを目指す仕組み

# 西三河都市間連携による 持続可能な エネルギーアクションプラン

岡崎市 / 豊田市 / 安城市 / 知立市 / みよし市



## エネルギー地産地消戦略

地域の資源を活用し創られたエネルギーを地域内で使うことは、環境だけでなく、災害対策にも地域経済にも良い影響があります。そのためにもエネルギーの地産地消に向けて取組を進めていきます。

### 電力の地産地消の仕組みの構築

地域の資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進していくとともに、地域で創られたエネルギーを地域で利用できる仕組みを作っていきます。地産地消を進めることで、環境にもやさしく、災害にも強いまちを実現していきます。



### 業務系冷暖房・給湯設備の再エネ導入・高効率化

会社やお店などで使用される冷暖房や給湯設備は、多くの電力や熱を必要としています。こういった設備の更新を検討する機会を捉え、専門家によるアドバイスなどを行うことにより、エネルギー効率の高い設備の導入を促進します。



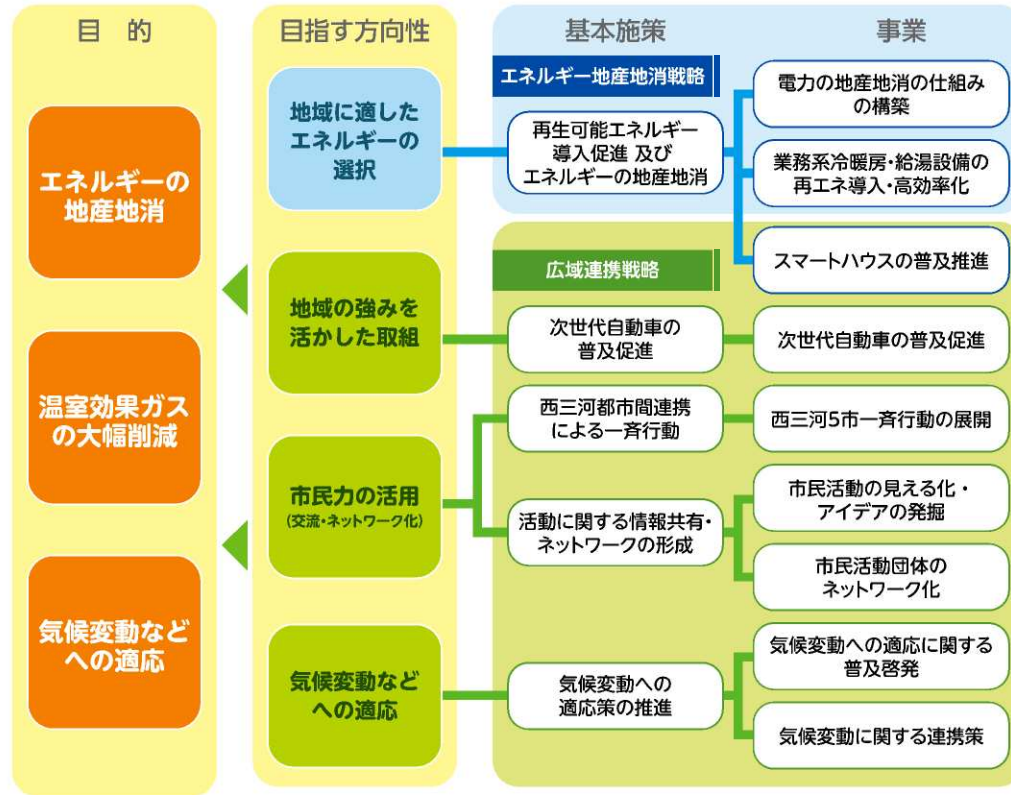
## 5市から始める！エコ・アクション

豪雨や強い台風による土砂災害、極端に暑い日の増加など、「最近の気候は何かヘン」と感じている人も多いのではないのでしょうか。

これらは地球温暖化が少なからず影響していると言われており、最近では世界各国がその対策に取り組んでいます。特に、最も生活に身近な市町村への期待は大きく、より実効力のある取組が求められています。

市民生活や産業活動において深い関わりを持つ5市が連携することで、取組の相乗効果を高め、より着実に地球温暖化対策に取り組んでいきます。

## ＝ アクションプランの体系図 ＝



### 気候変動への適応に関する普及啓発・連携策

地球温暖化による気候の変化は既に進んでおり、その影響は避けられないと言われています。CO<sub>2</sub>を削減する従来の「緩和策」だけでなく、起こることが予想される自然災害などに事前に備える「適応策」に取り組み、被害や影響を少なくしていくことが必要です。こういった新しい考え方を多くの人に知ってもらう取組を行っていきます。

### 気候変動により起きると予想される弊害の例



## 広域連携戦略

西三河5市が持つ資源や特色を最大限に活用し連携することで、より効果的な取組を進めていきます。

### スマートハウス・次世代自動車の普及促進

各市が行っているスマートハウスや次世代自動車に対する補助制度などの効果的なPRを行います。環境面での効果だけでなく、災害時における有用性も併せて啓発します。



### 西三河5市一斉行動の展開

冷暖房を共有することで節電に取り組む「クールシェア」や「ウォームシェア」、一斉に電気を消す「ライトダウン」などをはじめ、誰もが参加できる行動を展開します。5市112万人が一斉に行動できれば、大きな効果が生み出せます。



### 市民活動の見える化・アイデアの発掘、市民活動団体のネットワーク化

地域内で行われている様々な環境活動や取組アイデアなどを、発表・提案できる場を設けます。様々な活動について情報共有を進めることで、新たな発展も期待できます。

